

□ ある集いその足あと

神戸能面工芸会

前田 薫

（神戸市教育委員会事務局長）

人々はよく「能面のよな」と能面を無表情の代名詞に使いたがるが、どうしてどうして能面ほど豊かな表情のものはないと思う。演能の曲目によって、演じられる役柄によって、又舞台正面からみるか脇正で見るかによってもさまざまな感情を受けとることができ。そんな能面の魅力にとりつかれたものたちが昭和四十一年から集つて勉強をはじめたのが神戸能面工芸会の始まりである、最初は十名にも満たない数であったのが現在では七十名とふくれ上り月一回第一、第三土、日と分け開かれる稽古日は常に満員である、この会がここまで盛大になったのは一にかかるて当代一流の能面師堀安右衛門師の直接のご指導を受けられたことであるが、教室に自宅を提供して下さっている熨司氏ご夫妻のお心遣いと会員が一家族のよう助け合つて来たことも忘れてはならない。会員は二十才代から八十年代と巾広く職業も凡ゆる会社の社員、主婦、医師、看護婦、学

校幼稚園の先生、農業商業の経営者と多様であるがみな仕事の余暇の精進で腕はプロ級の人でも本職ではない。会員の中には東京、島根など遠方から来ている人もある。

最近全国的に能面づくりグループが増えているが神戸能面工芸会は

「古面に忠実であること」——即ち先生から多くの古面を見せていた

だくことが出来、それをお手本に製作できること、単なる飾面でなく常に舞台に掛けられる状態を

人々はよく「能面のよな」と能面を無表情の代名詞に使いたがるが、どうしてどうして能面ほど豊かな表情のものはないと思う。演能の曲目によって、演じられる役柄によって、又舞台正面からみるか脇正で見るかによってもさまざまな感情を受けとることができ。そんな能面の魅力にとりつかれたものたちが昭和四十一年から集つて勉強をはじめたのが神戸能面工芸会の始まりである、最初は十名にも満たない数であったのが現在では七十名とふくれ上り月一回第一、第三土、日と分け開かれる稽古日は常に満員である、この会がここまで盛大になったのは一にかかるて当代一流の能面師堀安右衛門師の直接のご指導を受けられたことであるが、教室に自宅を提供して下さっている熨司氏ご夫妻のお心遣いと会員が一家族のよう助け合つて来たことも忘れてはならない。会員は二十才代から八十年代と巾広く職業も凡ゆる会社の社員、主婦、医師、看護婦、学



堀安右衛門師（左）の熱心な指導をうける。

ルカイツクな微笑になつたりもする。物的な笑い顔になつたりもする。そのため木彫の段階で何となく作者の顔に似て来て名前が書いてなくとも誰のものが判る恐ろしさもある。しかしその面特有の情感が仄かにただよう作品が出来るためには単なる小手先の切味だけでは駄目で、作る人の心映え、生きざま、飽くなき研究心、その人が人間としてもつているものが物をいうのだからと教えられている。常に自分本位であつたり、自らを見つめることができないものは上手な、綺麗な面は作れても舞台の上からしみじみと人の心に呼びかけられるような面は打てないので、みなそれぞれ自分に厳しく精進している。

この会は又年一回の楽しみと勉強のために、各地の神社などに所蔵されている門外不出の古面を見せていただきための旅行をしていく。一面一面に秘められている歴史が、面の表からも裏からも語りかけられ暫し現実を忘れる。特に豊太閤拌領などの文字が見えると、昔のかがり火に映える能舞台や、人々が綺羅星のように並ぶ華やかな光景が目に浮ぶ。一つ一つを丁寧に拝見し、製作のための心の糧にしている次第である。

□お問い合わせ／兵庫区中道通2丁目1-10
幹事室 斎藤男
☎ 078-576-8945

神戸は今、開港以来 最大の岐路に立たされている

梅棹 忠夫

（国立民族学博物館館長）

久山 康

（関西学院大学文学部教授）

大島 襄二

（関西学院大学文学部教授）

京阪神三都は独自の発展段階をもつ

久山 神戸は長い間、横浜と並んで日本の大きな開港場として重要な役割を果して来ました。しかし、同時に大阪を控えて大阪の外港としての役割も果して来たのじやないか。京都と大阪と神戸の性格の相異、それから、東京と横浜との関係と、大阪と神戸との関係は少し相異があるのじやないか、と思うのですが。

梅棹 関東は東京を中心とした一元的構造でしよう。関

西は歴史的に異なる経過を辿りて発展して來た諸都市の連合体だということですね。『上方共和国連合』といふ

形になつてゐる。その点では関東と非常に違う。どれかが中心になるという考えはダメなんです。大阪が関西の大中心だという考えは成り立たない。さらに問題は複雑になつて、京阪神三都に加うるに最近は、"千々"というも

のが現われて來た。千里というものが、京阪神三都とほぼ等距離を保ちながら、独立のセンターとして発展し始めた。中世以来の『上方共和国連合』と違う要素が現わって來ました。神戸ですら中世の伝統を踏まえているのに、それに対しても現代の、中世も近世も何もない町が加わつたという大変面白い現象が起つていますね。

久山 千里というのは、神戸のもつてゐる国際性と、京都のもつてゐる大学都市としての文化性、それと、大阪のものと、の総合の上に出て來ているのでしようか。

梅棹 そうだと思います。そういう点からいと千里と一番性格が違うのは大阪なんです。大阪府内ですが大阪と違う。元々ベッドタウン構想で出発したのですが、今はベッドタウン離れを起こし、別のものになりつつある。それは何かというと国際文化都市です。非常に面白



大島 裕二さん



久山 康さん



梅棹 忠夫さん

いことになって来た。私は神戸の西神ニュータウン、および、研究学園都市構想は、どういう道を辿るか、興味津々と見てゐるのですよ。独自のものになり得るかどうか、あるいは、神戸のエクステンションに過ぎないのか。

久山 今まで大学というと、神戸大学、これは神戸高商が発展して來たものですが、その近くに関西学院の高商部があつた。神戸女学院も神戸で成立し、関西学院も成立した。この二つの学校は、神戸の国際的な性格、また、神戸のハイカラな中産階級的性格を映しているのじやないかと思います。そういうものが神戸から西宮へ出て行つてそのあとに神戸大学が形成されて来る。それと違つた新しい時代感覚で学園都市が開かれようとしているわけです。

梅棹 私は今、各地でいわれております学園都市構想に若干の疑問をもつてゐるのです。つまり、神戸でも、やや古くは、むしろ極めて学園都市的な性格が強かつた。

それが一般的な大都市に解消した。学園都市を形造つていた中核は全部外へ退避したわけです。そういう歴史的経過を考えると、ここでもういつべんそういうものを集結することの意味は何んなのかということですね。どうもよく分らない。千里は違うんです。千里はこれから研究学園都市などとはいつていない。むしろ、ただの住宅として始つた。それが立地条件の良さを求めて様々な大学機関や文化機関が集まり始めている。方向が逆ですね。

大島 他所の人は京阪神を一つにまとめていふけれど、京都の文化、大阪の文化、神戸の文化はいろんなところで違う。私は、京阪神の文化で基礎ゼミの勉強をやらせたことがあります。そのときに繁華街がつくられたときの名前のつけ方を調べたが、京都は新京極、神戸は新開地、大阪は新世界とつけた。京都は新しいものをつくつても京都の延長でしよう。大阪はドエラク新世界というい方をする。神戸は味も素氣もないというか、ただ、実質的に新開地という。ところが、そういうつた繁華街が

町の中に占める位置づけでは、新京極は京都という從来の古さの中ではやや新しい地域であり、大阪の繁華街はまったく庶民のものとして本当に雜踏の町ができた。神戸は、それじや新開地が繁華街の中心になっているかといえば、その後の神戸の中では決してそうじやない。むしろ神戸全体が新開地になった。

また、外国人がそれぞれの町をどう解釈しているか、ということを聞いて回ったんですが、神戸の外国人は、自分たちの国で生活しているのと同じような気持ちで生活している。住みやすいということですね。京都の外国人は京都を非常に意識して何か違ったものを搜そうという形で京都を見ている。大阪の外国人は、朝鮮・韓国の人以外は市内に住みつけようとしない。神戸の國際性だと自由だと平等だとが原因ですが、一方ではそれが文化が通過することになる。そこに停滞、澱みが起こらない。流れて行つてしまつて、常に新しいものが流動している。

神戸港にしても入つて来る荷物、入つて来る人が神戸にとどまるのではなくて、神戸を経由して外へ広がっていくという、そういうものですから、神戸の文化がそこに集積するという性格は初めからないわけですね。神戸を経由するという性格ですね。ヨーロッパの中世の都市は自由の空氣を与えるといったんですが、ある意味では、港も開かれた世界ですね。これから神戸の文化がどう形成されるのかということですが、大阪の文化、京都の文化は永年外に出さないからこそ集積された。それに神戸はこれから新しい文化をつくつて外に出さないで、きちんと神戸の中で收めるようにするべきかどうかということになりますと、むしろ、そうならないのが神戸じやないか。澱になつて淀むということは将来ともないのじやないか、と思うのですが。

ね。これが港横浜でそうなつたのかというと全然違うんですよ。東京周辺の新興都市としてどんどん上つて、港機能というものは少ししかない。横浜文化というものが一体、あるのか、どうか。あるとしたら、それは港によって、あるいは港のもつ國際性によって培われたものであるかといつたら、全然そじやない。私は、神戸も同じような傾向を辿つて行くと思いますよ。港を中心にして、神戸の國際性が發展したりする見込みはあるんじゃないじやないかと思う。若干の努力はあると思いますし、まったく効果がないとは思わないけれど、そういうことではなく、やはり神戸市の發展を支えているのは、それこそ西神地区であり、北摂であり、そういうヒンターランドであつて、今までの伝統的神戸のイメージとはもう非常に違うものにならざるを得ない。人口もどんどんそちらの方へ動いて行きますしね。そうすると、あるいは、三百万都市、四百万都市への道が出て来るかも分らない。むしろ、京都、大阪に比べて神戸は横浜と同じように無性格都市で發展できるのかも分らないですね。

久山 神戸が中継港のような形でアジアなんかにモノが出て行くということですが、ランバース先生が関西学院をつくったときには、神戸を東洋伝導の基地にする、日本の伝統と同時に、神戸は國際都市だから東洋に対して責任をもつという考え方があつた。そういう性格を未だに残しているところがある。しかし、それが、おっしゃるように、これからどれだけ發展するかというと、輸出入にしても産業の構造が変つて来ましたので、難しいところがあるのじやないかと思いますね。

ただ、ファッショントラフィック産業に神戸が力点をおくということの中には、外人も多くて、そこでは少し時間をかけて、日本人に受容されて、その中で、ただ仮着じやなくて、日本化された西洋のファッショントラフィックがそこから出現したからですね。通り過ぎて行くファッショントラフィックが出て来て、日本人に受容されて、その中で、ただ仮着じやなく

神戸の将来は“非国際化”への道

梅棹 今、人口でいうと、日本第二の大都市は横浜です

て来る。そういうものを今まで
はもつていたんですね。昨今は
芦屋なんかが、むしろ、神戸が
今までもつていたファッショング
の性格をどこか継承しながら、
神戸と大阪の間で生活的な新し
い文化が成立して来るような場
所として生成されて来ているの
じゃないですか。神戸のファッ
ションといつても何か前と違つ
て来たようで、これから伸びて
行く新しいエネルギーは、今ま
での神戸のイメージをこわすよ
うなものとして出て来ていると
いうこともあるのじやないですか。

梅棹 神戸がファッショング
都市だというのは願望ではある
けれど、それが神戸の発展を支えて行つてゐるとは思
えないし、今後もそういうもので栄えるとは私は考
えません。現在の日本のファッショングなら断然京都です。
桁違いに京都です。神戸にはとてもそ
ういうものがな
い。世界性もない。一つの願望として、イメージとして
はあり得るけれど、実際はそういうものじやない。また、
外人がたくさんいることの国際性もとても神戸を前へ押
し出して行く力にはならない。むしろ、神戸の前途は非
国際化だと思う。横浜と同じなんです。

久山 神戸は非常に洗練された洋風なファッショングとい
うことで、ある時期それは成立して
いた。ところが、海外との交通が昔の比ではなくなつて來た。それが變つて
來たのと、京都は、いつも日本の古い王城の地で、そ
こでは本当に純粹に日本的なものが、高度に洗練された
ものが残つてゐる。新しいファッショングも西洋の洗練さ
れたものだけをとり入れるというのじやなくて、日本民



神戸は今、転換期にある……と語る三氏

いと、伝統的な日本というものと接觸がとり
にくいということがあるのでしょうか。

梅棹 大衆消費社会の成立と發展の過程の中
で、外國的なものを導入する窓口としての役
割が著しく小さくなつてゐるでしょう。むし
ろ、京都のように一見伝統的なものの方がマ
ーケットシェアがものすごく大きい。やはり
ドメスティック（非国際化）傾向だと思う。
国際化が進めば進むほど実はそういうことが
起る。大変面白いことですね。そうでない
と国際化時代に耐えられない。国際化時代で
なかつたときには、神戸のように国際的なも
のが意味をもつた。今日のように世界が一
体化されて來たときには、やはり、自分たちの
もつてゐた文化的な伝統の自己主張がなければ、とうて
いもたない。神戸は、通過港であつて、パイプなんだ。
一体、ここに独自のものがあるのかというと、何もな
い。むしろ、いつぶん、外に対する関心を失つて、ドメ
スティックな大都市として發展し始めたま別のもの
が出て來ると思う。その意味で、私は神戸は試練に立た
されて來たと思う。つまり、明治大正昭和とかけて發展
して來た近代百年の歴史の中で神戸の果たして來た役割
は安定していた。今はその果たすべき役割がなくなりつ
つあるときですね。

久山 神戸は、明治以後の近代化の中で港として成立し
て來たのですが、港が日本の産業の集約地、そこで機能
を果して來た時期が外れて來て、しかも、近代以前の日
本の伝統というものに人間の心の動きとしては帰つて行
かざるを得なくなつてゐる。国際化が進めば進むほど、
伝統が国際的に交流し合う時代になつて來て、明治以後
に成立して來た都市は存在の根拠をもういつぶん問いつ
さなければならぬ時期が來ていますね。日本の近代化
そのものが根拠を問われる時期が來ています。

梅棹 そうだと思います。ある意味で産業的にも文化的

にも熾烈なる国際競争時代に入つて来ると、そのときに

残るのはハイカラさんじやないですね。ハイカラでは絶対に生き残れない。そうなると、ものすごく強いのは京都ですね。神戸は近代百年で果していた役割を転換しないといけない。ちょっと難しいところに来ている。貿易機能という点でも、世界の構造的変化にうまく合つてゐるかどうか疑問ですね。世界の構造的変革、日本の構造的変革に対応して、神戸がどう対処して行くのかは大問題なんですね。今のところ未だ解答は出でていない。

個性ある都市の時代は終つた

大島 高度経済成長時代までの貿易は、工業原料、工業製品が中心で、昔は横浜と神戸が中心だったのが、今では名古屋でも四日市でも各地方に港湾が整備されて来て、お互いに分取り合いをした挙句に経済成長がストップした。そういうことで、みな共倒れをした。共倒れをしてしまつた中で、まさに神戸の暖簾が生きるのか、生きないのか。今さら神戸でなければならないようなものが動いているかっていうと、それもちよつと悲観的ですね。

久山 神戸にまたま今まで成立して来ていた造船とか鉄鋼関係とかは不況産業になつて来ている。神戸は港に付随して工業で繁栄して来る道をもつたが、それが打撃を受けて前途が暗い。そうでありながら、港神戸のイメージをどこまでも追わざるを得ないところがありますね。しかし、今は北摂が新しい背後地として成立して来るとか、西の方にも新しい産業都市が成立して来るとか、今、性格が急激に変化しながら、過去のものをどうつないでやつて行くか、非常に混迷した状況の中で考えなければいけないですね。ポートアイランドの開発で過去に神戸のもつてゐた意味を再構成して行く。それと明石の方の新しい住宅地の構成で、阪神の中で違った性格のものを付与して行く。伝統的なものと新しい神戸市の性格づけと二つに分かれながら、しかもその中で学

園都市をつくつて行く。

梅棹 神戸はファンション都市とか港湾都市とかいろいろなが、実際は神戸を支えていたのは第二次産業なんですね。神戸は今、違う方向へ脱皮しつつある。第二次産業が、第三次、第四次、第五次産業の方へ転換している。研究学園都市というのもそういうことなんで、工業都市と違うぞという宣言なんですね。

大島 十年ほど前、日本中のどんな田舎へ行つても村役場に観光課ができたでしよう。一億総観光で、観光とさえいえばお金が落ちると思つて。あれを学園という名前に置きかえられたみたいですね。幻想がありますね。

久山 この前、坂井県知事の話を聞いていましても、新しい学園といいましても、その中で非常に注目しているのは芸術の分野ですね。芸術というものが産業として成立するわけで、第三次産業に関連してますね。放送とか演劇とか、そういうものが文化生活の充実という形で成立して来る。たとえば学術都市といつても、京都や東京のもつてゐる基本的な意味で学術というよりも、産業と結びついた形の新しい学園をつくつて行くということも大きなウエイトをもつてゐるのではないかという感じもするんですが。アメリカなんかでもそういうことが非常に盛んだということですね。そういうことによつて新しい産業の構造も今の二次産業から三次産業へ転換して行く。

大島 神戸は流通機構の中にいる。だから受け取つた側がどこから入つたインフォメーションか、元を探れば神戸から入つていたという感じのものが、漠然と広がつてゐるのが神戸だという感じがする。核がないんですね。久山 神戸でもよく国际性と郷土性、あるいは地域性といふことがよくいわれますが、自分の住んでる町の産業を起こすという意味では郷土性が強く自覚されなければいけないですが、国际性と民族性と、その中の郷土性というような、一つ大事な民族というものがのけて考えられる問題が本質的にならないところがあるのじや

ないかという気がする。日本の民族の伝統に根ざした郷土性が求められているのじやないか。神戸のように明治以降成立して来た町は、民族の伝統といふことをいい出すと、神戸の存在そのものが非常に稀薄になつて来て、独自性が失われて来るという心配はあります。だけども、今、むしろ、国際性と民族性の中で地域とか郷土とかが問題になって来るようなところが現実には問われてゐるのではないかという感じがします。

梅棹 今や大阪か、神戸かということにはならなくなつてゐる。大阪湾岸都市連合というものが次第に形成されつつある。その中で神戸の役割は何なのかということですね。そういう大阪との再位置づけを必要とするようになつて來ている。神戸は独自の発想で……という前に考えないといけない。連合体の中の神戸なんだということですね。また、上方都市連合、自体が再編成を迫られている。いずれにしても、ゆるやかな連帯しかできないですね。湾岸都市連合、および、それを中核とする西日本全体のネットワークの中で位置づけをされて行く。

久山 兵庫県なら兵庫県、神戸なら神戸で何でも独自にもどうと、他との連関なしに考えるとダメですね。地域の方は一つになりつつあるので、地域全体の中で神戸はこういう分担をするんだという考えが必要ですね。

梅棹 私は、個性ある大都市の時代は終つたと見てゐるんです。むしろ、無個性的な、規模においてそう差のない都市で全国はおおわれて行く。それは格子状構造になつて行くだろう。いろいろな機能をそれぞれに兼ね備えた中都市、小都市が地方にしっかりと育つて行く。大体似たようなものになる。それはある意味では、封建都市化だと見ているんです。日本の大人口をうまくバランスをもつて発展させる制度としては、封建的地域性というものは極めて有效地に働く。急速に近代化をするために、中央集権制度は機能を果し、大体成功したので、ここでもういつべん我々のもつてゐる地域的伝統、封建的秩序の見直しをやる必要があるだろうというのが基本的な

考え方なんです。

久山 大正の初めから昭和にかけて地方の高等学校ができたでしよう。そのときはそれぞれの都市の性格がハッキリしていた。今は産業の構造がずい分と違つて来て、どこでも同じような産業で、特色が出しにくい。無性格な、しかし、地域的に中心をもつたようなものになつてゐる。しかも交通が便利になつていて。そういう中でもう一度、地方都市が整備されて来ると、今までとまつたく性格の違つたものになるでしょうね。

大島 かつての藩の時代には、各藩がそれぞれ殖産興業といういい方をして独自の伝統産業ができ上つた。それに近いような感じの個性はやはり必要だと思いますね。神戸も横浜もそういう意味では何もない。だから開港場になれたんですね。

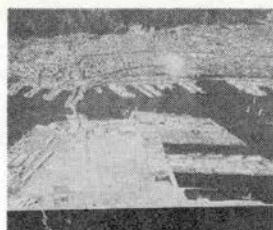
梅棹 封建制の一一番大きなメリットは、都市間競争があるということです。その中から様々な文化的、経済的創造力が湧き上つて来る。巨大都市による独占と支配を許さない方がいいということです。その方が国民全体に活力が出て来る。都市の田園化だと考へています。神戸や大阪のような巨大都市でさえもある種の田園化は進行する。同時に田園の都市化が進行する。そういうことによって全国が比較的ホモジーニアスなものになつて行く。

今、一番困るのは経済、文化、権力の集中なんですね。それをどういうふうに均霑して行くかが現代の問題です。ただ、田園の「田」はたんぽという意味ですが、思想的系譜としては十九世紀にすでに出て来たわけです。元は英語で Garden city なんです。都市にガーデンをもつことは、そう難しいことじやないです。

久山 神戸でも新しい理念として田園都市構想をもつとすることは、他にさきがけていいのじやないです。く、神戸とか大阪とかの大都市がそれをやつて欲しいといふことです。

経済ポケット

ジャーナル



神戸ポートアイランド

★計画すすむ ポーアイ
ファッショントゥーン

建設中の神戸ポートアイ
ランドにファッショントゥーン
の建設計画が進められて
いたが、市の用地分譲第一
次一般公募によって、よう
やくその実現への第一歩が
踏みだされた。

組合KFC(木口衛理事長)▼

が中心になって進出準備を
していたが、不況などによ
り中止。しかし各企業単独
の進出計画によって、ワ
ルド、オールスタイル、キム
ラタンなど神戸市内の大手
中堅ファッショントゥーン関係企業
十数社が進出の見込み。神
戸ポートアイランド博覧会
終了後、昭和五十六年夏に
着工、五十八年秋ごろに完
成の予定。

★神戸市観光バス

黒字路線を走る

風見鶏ブームで神戸の觀
光もちょっとしたもの。神

戸市交通局の市内定期バス

の五十三年度利用者数が、
今年一月十七日に早くも二
万人を突破し、戦後初めて
の黒字計上の見込み。

ファッショントゥーンは、
インターナショナルスクエ
ア二十八ヘクタールの一画
にファッショントゥーン関係企業の
本社機能を移転し、ファッ
ショントゥーン大学、史料館、博物館
などを建設しようとする構
想で、昭和四十八年に設立
された衣料メーカーの協同

神戸名所を巡っているが、
常設のA、Bコース、季節
運行のCコースがあり、異
人館、神戸港、水族館など
が、

★KOBEオフィスレディ★



三宅 安子さん (23)

〈鹿児島トヨタ本社営業所〉

「会社の人がみんないい人ばかりで仕事も楽し
いです」っていいながら、本社一階のショール
ームで受付を担当。明るくよく気がついて……
とは社内での評判。洋裁を習い、休日はテニス
を楽しむ。結婚は? ——「今、やりたいことが
いっぱいあって、あんまり考えていない。……
そんなこともないけど……」と本音もチラリ。
竹脇無我みたいな人がいいんですって。さそり
座。長田区在住。 (武庫川女子短大卒)



大ウケの神戸市観光バス

一台のバスがあるが、五十
三年度の売上げを一億八千
万円と予測。このため五十
四年度中に三台増やすこと
も検討中と意気盛んな神戸

この船は、神戸通船(株)
が建造したもので、一般公
募により「ゆうかり」と命
名。去る一月十九日、兵庫
区の金川造船で進水した。
長さ三十二メートル、幅六
・五メートル、一六五トン
とこれまでの遊覧船に比べ
て一回り大きく、四百人の
客をのせて、中突堤、ボ
トアイランド、摩耶、兵庫
ふ頭の港内遊覧に利用され
る。また、甲板上では船上
パーティにも使用できるよ
うに設計されている。

光ブームに同局が便乗して
新しい需要を掘り起こすた
めのPRや新企画に力を入
れることによって利用客が
増えたもので、昭和十一年
の観光バス開設以来、はじ
めの三年間を除くと赤字続
きの事業に明るい話題。ま
た貸切りバス部門は、現在

とになった。

★港めぐり船「ゆうかり」
市交通局だ。
今月デビュー
異人館や酒倉の「新進観
光地」に対して、観光神戸
として忘れられない存在に
ミナトがあるが、今月中旬
に港めぐりの大型観光船が
新しく神戸港に登場するこ
とになった。

●梅一輪一輪ずつの暖かさ

刀劍 古美術



〈脇差、拵つき〉
銘 / 大和守源兼元
孫六七代末作之
特別貴重刀劍認定書付
刃渡/56.2cm(1尺8寸6分)
定価 ¥1,000,000

鑑定 買入 刀劍 研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣
古 美 術
元 町 美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081



きもの工芸

あんぐら屋

神戸

本部・仕入部
本店

神戸市東灘区青木五丁目一五七一九
電話〇七八一四五二一五二九〇(代)

神戸市生田区三宮町二丁目一五二九八
電話〇七八一三三二一七〇〇(代)

さんちか店
銀座コア店

神戸市生田区三宮町一丁目一
東京都中央区銀座五丁目八一〇
(四階きものコア)

電話〇七八一三三二一七〇〇(代)
電話〇三一五七三一五二九八(代)

銀座メルサ店
渋谷東急店

東京都中央区銀座五丁目七一二
(六階和菓子街)

電話〇三一五七四一八〇六五(直)
電話〇三一四七七一三四〇九(直)

日本橋東急店
池袋パルコ店

東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一
(五階呉服売場)

電話〇三一二一一〇五一一(代)
電話〇三一九八七一〇五六一(直)

東京都中央区日本橋通一丁目九一二
(四階呉服売場)

電話〇三一九八七一〇五六一(直)

第8回ブルーメール賞／文学部門選考座談会

農民の意識を描きつづける 新進の桜井利枝に

小島輝正

（神戸大学教授）

森川達也

（文芸評論家）

島 京子

（作家）

——文学部門は今年は小説で選考をお願いします。あらかじめ島先

生から広重聴（「VIKING」

同人）田口佳子（「旅と湯と風」

同人）桜井利枝（「AMAZON」

同人）の三人の方が推薦され、最

近作の「傾日」（広重）「花狂い」

（田口）「旧怨」（桜井）が参考に

あがっています。ところで、この

三人以外ではどうですか。

島 他には、コンスタントにある

程度のものを書いてるのに谷口

謙（「西播文学」同人）がいます

ね。年配ですが西宮の「浮標」と

いう詩の雑誌に百何枚かの小説を

載せていました。この前の「西播

文学」にも書いていました。

小島 殆んど生活日記みたいなも

のですね。

島 「崖」という同人誌が神戸か

ら出ていますが、永井直樹は本当

の新人でまだ一作だけなんですが

素直でとてもよかったです。女流の柏

木優も活躍していますね。

★ムラなく読める

広重、田口、桜井

小島 桜井は農民文学賞を貰いま

したね。何という作品ですか。

島 「もずの庭」です。この人は

眞面目というか、一生懸命にやつ

ています。作品数は少ないですが。

森川 三人ともよく書いて来てい

るので、ムラなく読める。出来上

がりはみんな水準以上の作品にな

っていますね。一番長く書いてい

るのは広重ですね。

島 田口も「旅と湯」と出たたび

に載せてるが、「花狂い」が一

番ましですね。

森川 印象からいうと一番面白い

と思ったのは「花狂い」。いろいろ

と問題はあるが、問題があるだけに面白い。一番、成程と年輪を

感じさせたのは広重です。

小島 広重のこの作品は題材が少

しうつとうしいですね。

森川 一種の心境小説でしょう。

心境吐露みたいな感じ。その点で

はそつなくまとめていると思うが

もう一つつ込まないと文学にな

らないと思う。その点は桜井にも

いえる。もう一つ別挿しないと。

島 広重の場合、主題に影響のな

いエピソードがチョコチョコ出て

来すぎる。どちらも素材密着だが

桜井は自身に密着した問題で、社

会における弱者と強者のことを書

き、読者を引き込む熱気が多少感

じられるが、その熱気が広重には

足りないと思いますね。それは自

分自身の眼じやなく他者の眼で見

ているからですね。桜井は本当に

自分の問題として書いている。

小島 広重は前に書いたものでも

こういう感じですね。

森川 自分の持ち味みたいなもの

ですから、これ以外は書けないで

しょう。桜井については、今、熱

氣ということがいわれましたが、この作品に関していえば、これは都市近郊の農民の生活感覚というか生活心理を書いているんでしょう。僕はやり切れない農民の生活感覚みたいなものを書いていると読んだんですけどね。ただ、そういう点に関して基本のつづ込みはどうなつてあるのか、僕はものすごく不満だったわけです。農民の意識の動かし方は、成程、こうやるなあという風には思いましたけどね。

小島 ある水準まで来ますけどそれ以後ハカニ頑張つてもその水準

平坦なんですが冗漫なところが少なくて…。

以上は書けない。将来の可能性と
いう点ではもう一つですね。これ
小島 森川 裏からいえば全然つ
サバサバしますね。

は、女流の同人雑誌の傾向といいいますか。もちろん全部ではないですが。相当うまいなあというのはあります。きちんと書いて小説作法も勉強して優等生の作品なんですが、ただそれだけで、頭打ちだという、そういうところがあるんですね。エネルギーが技術主義みたいになつて、これは何かここ

から面白いものが出て来るぞとい
う気がどうもしなハですね。

森川 作者はどこに自分の位置をおいているのか分らない。

小島 田口はどうちかといえばいわゆる“女流文学”ですね。情緒的なお話をつくつて女づぶりを見せる。何というか女であることを見せようという型の人だと思います。

無論、力量のある人ですから、この手の作品はズッと書いていけるでしょうし、場合によつちや長いもの、相当みつちりしたものも書けると思いますね。ただある限度というか、頭打ちがある。

★頭打ちの感のある
"女流文学"

小島 輝正彦6



森川 達也 6



島 京子さん

——それでは桜井さんに決めさせていただきます。（文中敬称略）

島　スジと読んで来ますと田口の
作品にはそれはありますね。女の
悪い属性をいっぱいもつてゐる人
みたいですね。「花狂い」は読ん
でいても何かもどかしくてもっと
整理をして欲しかった。広重はい
ろんな問題がからんで来る。桜井
は特にいいこともないし、構成も

森川 僕もそう思いますね。そう
はいつても体験談だからアリテ
イはあるし、農民文学賞をもらつ
たというのは一つの実績ですね。
島 この人はこれからもどんどん
書いて行くと思いますね。

森川 俊也

10



小島 標正彦



取りくむ米田博司に

福富芳美

〈神戸ドレステマネージャー〉

森本泰好

〈神戸地下街株式会社常務〉

畠崎広敏

〈ワールド社長〉

藤本ハルミ

〈デザイナー〉

小泉美喜子

〈本誌エディター〉

（文中敬称略）

編集部 昨年から新設されたファッショントレーニング部門の第一回受賞者はデザイナーの藤本ハルミさんでした。神戸の街にもファッショントレーニング都市のイメージが定着してきました。この広い意味で捉え、活躍されている人々を推せんしてください。

福富 ではデザイナーにこだわらず、店作りに励んでいる人やファッショントレーニング界全般でということね。

福富 けれど中途半端に確立している人にはもうひとつ、という意味から年齢も必要だし、神戸に定着する人がいいですね。

森本 ある程度将来の見通しがつく人の方がいいですね。

藤本 もちろん、年さえいっていればいいのではなく、その人の個性が色濃く出るには年月も必要だということですね。

福富 うなづいていますよ

福富 といふことですね。

福富 ニットの市野木江充子は昨年も2回ショートを開いたし、地味な仕事を堅実にやっていますね。小泉 作品に彼女の個性が出てきましたし、一回ずつよくなっていますね。

畠崎 企業のやるショートほど予算もとれないだろうし、市野木さんの意欲とファイトを買いますよ。

小泉 ルナや月月堂でショートを開いた浦野敏彦はどうですか。

福富 まだ未熟ですが、センスはいい、才能はありますね。

藤本 私もショートを見て感心しました。発想も、色彩感覚も神戸らしく良いのでじっくりしてほしい。

畠崎 時間が経つて落ち着くと、何かを掴むかもしれないね。

小泉 KFSのメンバーで身障害者が洋裁を教えている米田博司は、

福富 かけて地道な活動をしていますよ

藤本 身障者は洋裁技術が身につ

いてもなかなか企業では雇つてもらえません。そこで身障者のお母さん方がいろいろ工夫されているのに専門的な知識を与えて将来はそういう人達と一緒に身障者のためのファッショントレーニングを企業化するのが彼の夢なんです。

畠崎 KFSのメンバーの協力というのも彼にとつては大きな力になつてているようですね。

森本 個人ではなく、ファッショントリニティ市民大学の卒業生でグループを作っているKFSの一連の活動も対象になりますね。

小泉 ファッショントリニティに参加してデザイナーの小倉久仁子が初めてショートを開き、異人館俱楽部でブティックを開く大里最世子も2回ショートを催しましたね。

コットンを扱った神戸らしい雰囲気で、個性があります。

福富 こうしてみるとデザイナーもなかなか頑張ってるわね。

小泉 神士服業界では、渡辺洋服店の会長、渡辺利雄が編集委員長になつて「神戸洋服百年史」という立派な本を発行しましたよ。

藤本 紳士服はチームワークと組織作りがばっちりきまつますね。

小泉 若手では、柴田音吉洋服店の柴田啓嗣が、ゴールデンベールの服地の販売権をドーメル社と合弁会社のシバタ・ブリティッシュテキスタイルが獲得したということで、英國王室から金メダルを受けましたね。

藤本 K.S.A.の神戸セビルローラン・エイツが自作自演で開いたショーも面白かったわ。

福富 紳士服は職人的なグループでがちりまとまつてますね。

★新分野、身障者ファッションに

森本 今年異人館俱楽部ができたのも良い仕事だが、キングスコートやローズガーデンといった先駆者がいたわけだからね。

畠崎 去年出版された『DRESS SAGE』も写真が綺麗で面白いファッショングだね。

福富 芳美さん



森本 泰好さん



畠崎 広敏さん



藤本ハルミさん



本誌・小泉美喜子

小泉 サブをやつた小島素治がやつていて、神戸発のインター・ショナルな雑誌ですね。

畠崎 なかなか良い本だし、長く続くといいんだがね。

森本 ミカゲガーデンシティもなかなか良いファッショングビルだ。

小泉 3店舗目を出店したアンリ・シャルパンティエの蟻田尚邦も頑張つてますし、ガストロノミはフック神戸店の岩田弘三が広げてますね。

K.F.R.（コウベファッショングリヨウリニン）も活動が続いています。六段の山田幸男やビストロ・ド・ウ・リヨンの山崎良平、芦屋にコヒーのないカフエを作ったハイジの前田昌宏など若い世代が意欲的で嬉しいですね。

森本 ジャンムーランの美木剛やベルゲンの安田義男など、味づくりにファッショング性をプラスしましたね。

藤本 真珠のメツカの神戸では、金子真珠の寺尾匡子や大月真珠の土居満代などパールデザイナーがいい仕事をしています。

畠崎 最終的には、世間に良い意味で影響力があり、商売気抜きで

やつてるとか、かなりユニークなものを選びたいね。

そういう意味では米田博司の仕事は立派やね。我が社も協力した

森本 私も彼の仕事は評価しますね。個人が対象かK.F.S.の一連の活動としてそういうグループが対象かどうかがいいのかな。

畠崎 しかし身障者のファッショングを手掛けるというのは新しい分野へのチャレンジですね。

藤本 さんちかで展示会をやるという予定もあるようですよ。

畠崎 こういう仕事はショーやることより、コツコツやっていくことが大切やし受賞を機会に一層発奮してもらえたね。

藤本 動機も純粹ですしだ変な情熱をもつてやつておられますね。

福富 市野木は商売だけでなく非常に勉強もし教育という立場もふまえてよくやつています。

藤本 ショーをやるたびに良くなりこれから期待できますね。

森本 人間の発掘とこの賞に多様性をもたせるためにも米田博司に決定することにしましよう。



意欲的でフレッシュな プリマドンナ坂本環に

吉村一夫

（音楽評論家）

柴田仁

（音楽評論家）

小石忠男

（音楽評論家）

★女流ピアニストの

飛躍

編集部 例によつて昨年開かれた演奏会のなかから印象に残るもの

をひろいながら選考をすすめたい

と思いますが、ある程度部門に分けて、始めてピアノから。

柴田 小沢雅世が朝比奈千足の指揮者としてのデビューリサイタル

（7月21日・大阪厚生年金会館）に出演

したのと、リサイタル（10月30日・毎日国際サロン）を開催しています。

吉村 指は動くんだけど……おもしろさがないんですね。

柴田 それから神戸女学院出身の吹田周子がリサイタル（3月24日・神戸文化ホール）を開いています。これは強く印象に残っていますね。

小石 布野ゆき子は渡辺暁雄指揮の日本ファイル（10月20日・フェスティバルホール）に出ていましたね。

柴田 布野ゆき子は渡辺暁雄指揮の日本ファイル（10月20日・フェスティバルホール）に出ていましたね。

柴田 布野は一昨年県民小劇場で

リサイタルを開いて音楽クリティッククラブ新人賞と神戸灘ライオズクラブ音楽賞を受賞していますが、やはりその時の方が良かつたようです。だけどまだまだ今後が楽しみな人です。

小石 同時に受賞したソプラノの坂本環とジョイントコンサートを3月に開いたり、今後いくらでもチャンスがあると考へてもいいで

しょう。

柴田 鞍井博子がニューアイバー・コンサート（1月11日・芦屋ルナホール）▽に出ていましたね。

吉村 まだ弱いね。

小石 伊藤ルミが大阪フィルの神戸演奏会（5月10日・神戸文化ホール・指揮／朝比奈隆）でベートーベンの「皇帝」を弾きましたね。

★松本幸三は
「トスカ」に期待

柴田 二期会の歌劇「コシ・ファン・トウツ」（6月7日・大阪厚生年金会館）に高丈二が入つてましたね。

吉村 いい声だけどパンチがなくて、ちょっと弱いな。

小石 移川澄也が独唱会（5月16日・県民小劇場）を開いてました。なかなか良かったですね。だけど高や移川は現在は東京の人ですね。

てきた伊藤としては意気込みは大きかったでしようね。

小石 ピアノ部門に他にもあります。田原富子、関晴子という最有力候補となる人がすでに受賞していく、次に続く人がなかなか

出てきませんね。

吉村 一次選考通過として、吹田周子と伊藤ルミを残しておきました。

吉村 コンチエルトを演るのはたまにへんなことですよ。

柴田 每年候補にあがつてきますね。いろいろと演奏活動を蓄積し

柴田 岡田晴美がリサイタルへ11

月6日・毎日ホールへを開いたり、第

九へ12月23日・神戸文化ホール・指揮／朝

比奈隆／やヴィエールのメサイヤ

△12月12日・大阪厚生年金会館へと活発

な動きをみせましたね。リサイタル

は充実した内容でした。

小石 活発な動きでは三室堯がそ

の同じ第九に出たりしてました。

柴田 決定打が出ないです。

小石 非常に安定している。声は

いいし、歌はうまいし、出れば申

し分のない歌なんだけど。

柴田 欲のない人ですね。

吉村 自己顯示欲に対し執念が

ないんですね。次の機会を待つて

もいいでしよう。

小石 松本幸三がイタリア留学か

らの帰国記念リサイタル△12月1日

・毎日ホールへを開きましたね。

柴田 技巧的におもしろく聞かせ

ましたが、全体的にはまあまあの

出来でしたね。留学といつても、

一年の間で大きな収穫をつかむの

はむつかしいことで、これからジ

リジリと勉強の成果を出せばいい

んですね。

小石 今年、小沢征爾指揮による

吉村一夫さん



柴田仁さん



小石忠男さん

歌劇「トスカ」にしますから、そ
れに期待しましょう。

柴田 井上和世がサマーロコンサート△7月20日・神戸文化ホールへ出演

してましたけど、活動として弱か
ったですね。

小石 関西歌劇団定期公演で「ド
ン・ジョヴァンニ」△5月25日・大阪

厚生年金会館へと「トロヴァトーレ」△11月9日・大阪厚生年金会館へに出演

した坂本環がいます。

吉村 坂本は有力候補ですね。神
戸中央合唱団が全日本合唱コンク

ール△全国大会△11月23日・函館市民会館

△六度目の金賞を受賞してます

ね。まあこれはもう安定の域に達

してますね。

柴田 となると声楽の部門では三

室と坂本を第一次選考通過としま

しょう。

吉村 となると声楽の部門では三

室と坂本を第一次選考通過としま

しょう。

柴田 となると声楽の部門では三

室と坂本を第一次選考通過としま

しょう。

★北山隆の定評ある

小石 指揮者としての朝比奈千足

はデビューしたばかりだから、も

う少し様子をみましょう。

柴田 たにしの会という作曲者の

グループが毎年発表会を開いてい
ますね。

小石 指揮者としての朝比奈千足

はデビューしたばかりだから、も

う少し様子をみましょう。

柴田 たにしの会という作曲者の

グループが毎年発表会を開いてい

ますね。昨年は第七回△10月19日・
県民小劇場へで、特に良かったとま
ではいきませんが、よく続いてま
すね。中西覚の作品がおもしろか
ったですね。

吉村 リコーダーの北山隆が相交
らず活発でしよう。

柴田 リサイタル△6月16日・芦屋ル
ナホールへの他テレマンナンサンブル
とと一緒に活躍しています。

小石 問題なしという感じ。

柴田 舞踊界では上甲裕久が振付
で頑張ってる。また加藤きよ子が
初めてのリサイタル△6月27日・神
戸文化ホールへを開いてますね。

吉村 最終的に坂本と北山にしほ
つていいんじゃないかな。

小石 声楽と器楽だから比較はむ
つかしいですね。坂本は素質があ
って、売出し中って感じですね。

吉村 いい声ですよ。歌はまず良
い声でないといけない。しかし若
いから仕方ないけど、まだよく練
れていらないね。

小石 仕事として優秀ですね。勉
強家ですよ。

吉村 本当にテクニカルで安定し
てているというにはほど遠い。

柴田 その点北山は安定していま
すね。

吉村 坂本のフレッシュさを買つ
て、今回は坂本に決めましょう。



秀れた素質、たゆまぬ研鑽に期待して藤井徳二に

佐野漣箕（神戸新聞文化事業局長）

坂元英夫（能楽研究家）

小泉康夫（能楽研究家）

★惜まれる香西精氏の逝去

編集部 ここ数年、古典芸能部門

に於て能楽の分野の活躍、業績は特に目覚ましいものがありました

第一回より花柳芳恵一子、若柳吉

由二、吉井順一、花柳芳五郎、

花柳吉叟、藤間緑寿郎、尾上菊見

と続いたブルーメール賞、第三回

の吉井順一以来の能楽界での選考となりますが、まず昨年、一昨年の全般的な活動状況から進めた

と思います。

坂元 能は今や世界的な芸術と認められ、神戸でも最近とみに盛んになってきたのは事実ですね。

小泉 催しから挙げれば、年初めに関西では唯一の「神戸五流能」

（観世流、喜多流、金剛流、金春流、宝生流／主催・神戸市）があり年頭を飾る大きな能です。また

神戸観世会と神戸新聞社共催で行

われる秋十月の大能に「神戸能」がありその他に市の教育委員会・

文化課が軸になって年に二十二回

学生鑑賞能（市内の中学生を対象）

というのもありますね。

坂元 職分家を中心とした同門会も加えられて幅広くなりました。

佐野 特に「神戸能」は第六回を

迎え定着してきました。同時に元老級は一層充実、中堅層は伸び、

新人が育つて人材も多彩になってきたのは顕著です。

小泉 神戸の能楽界は質的に水準

が高くなっているんじゃないでしょうか。年四回開かれる神戸観世会の定期能も充実していますね。

坂元 確かに質的に向上してきましたね。特に中堅層が目覚ましい活躍ぶりを示していますよ。

小泉 神戸能楽界の発展に貢献された能楽評論家・香西精さんが昨年他界されたのは本当に惜しい。

佐野 神戸ばかりでなく日本の能

楽界にとつて大きな損失ですね。小泉 昨年末、観世寿夫さんも他界され、神戸能には登場せざじまいで非常に残念。この人も今後

日本能楽界を背負つて立つべきだつたのに。だが観世栄夫が復帰し期待される一面はあります。

坂元 柱は失なつたが新しい支えを得て頑張って欲しい。ニュースとしては朗報になるでしょう。

小泉 朗報といえば、昨年広く一般への能の普及をめざして創られた能楽教室も話題を呼びました。

年間に六回開催され盛況でした。

佐野 より多くの人が伝統芸術である能の魅力に触れる場ができるのは喜こぼしい限り。そして質的には喜こぼしい限り。そして質的に向上充実してきた神戸の能楽界にもっと陽を当てなければ……。

★神戸の双璧、

藤井久雄と上田照也

佐野 実際の舞台面ではどうでし

よう。梅若万三郎の「鷺」は、話題を呼び好評でしたね。

坂元 立派ではあったがボビュラーナ曲でないため比較が難しい。

佐野 昨年古稀を迎えた藤井久雄の祝賀能での「娘捨」は秀逸。七十年間の人生のすべてを注ぎ全身

全靈で舞う姿は、格調高かった。昨年、神戸新聞平和賞(文化部門)も受賞しましたが。

小泉 上田照也の「三番能」も定期的な能でした。神戸観世会の理事長を勤め、能の普及に身を注ぎ、プロデュース面においても天分を発揮して、縦横の活躍ぶりです。

佐野 舞台でも精力的、地方への稽古も熱心ですね。

小泉 今や大曲の地謡で藤井久雄と上田照也といえば関西はおろか全国でも貴重な存在ですから。

坂元 芸風も対照的でかえってそれがいいですね。

小泉 しかしこの二人、ブルームール賞というより文化賞級ですね「土蜘蛛」の吉井順一も個性のある芸風の持ち主といえますね。

佐野 藤井徳三の「鞍馬天狗」は豪快で繊細でリズミカル、良く出

来てました。

坂元 徳三は家元で八年間、芸とともに人間的にも修業。まだ未完

成だが秀れた素質を持ってますよ

小泉 力強い声量と美声は彼自身の天分でしょうね。学生鑑賞能の中心的な世話役もしておれ能の普及にもなかなか積極的ですよ。

坂元 中堅の中で活躍したのは、勝部全一、渋井義信、山村啓雄、橋保向らでしょうか。

佐野 笠田稔、藤谷政二、梅若景久も話題の人物ですね。

坂元 実力からいえばもう一步というところですね。

小泉 梅若景久、梅若盛義はこれから梅若を担う人たちだ。

坂元 丹波篠山で能を開催し、意欲的な活躍もみせたんだけど。

小泉 藤井楽人、藤井完治も芸に幅が出てきました。これから大いに頑張って欲しいのは渋井義寿、下川宜長あたりですね。

坂元 おもしろ味があつて楽しみながら久田徹二。

佐野 若手から、姫路の山田義高も挙げておきたい人ですね。

小泉 まだまだ未熟だが、将来が

楽しみながら上田貴弘、上田拓司兄弟。これからどう取り組むか。

佐野 「朝長」のツレを演じた拓司には素直な感を受けました。

坂元 神戸の能楽界は確かにレベルが上っており、若い人材がどんどん着実に伸びてきましたね。

★素質と実力の藤井徳三

小泉 この辺で的を絞りたいと思うのですが、この二年程一生懸命

芸に励み、能活動に積極的に取り組んだ点で、吉井順一の次に選入るのは藤井徳三が有力な候補でしょう。昨年の神戸能で「鞍馬天狗」を舞うため大分頑張ったよう

で、その成果は表われましたね。坂元 芸の上では少し不安が残るけど、努力家であり学生鑑賞能での積極的な活躍ぶりは評価されていいし、焦点を当てたい人物だ。

佐野 舞台上でもどつしりと安定感があり、未来に明るいものを期待できそうです。賞を受けることを契機により一層の精進と芸の研鑽に励んで欲しいと思いますね。

坂元 素質の上に実力がプラスされ素晴らしい地謡になるでしょう。藤井徳三に賛成です。

小泉 今以上に芸の向上に努力し普及を含める能活動に意欲的に取り組むことを条件に、第八回は藤井徳三に決定しましょう。



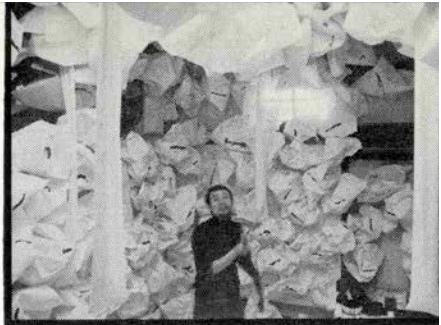
佐野 達箕さん



坂元 英夫さん



本誌・小泉 康夫



バイタリティ溢れる 堀尾貞治に

赤根和生 （美術評論家）

乾 由明 （美術評論家）

増田 洋 （美術評論家）

草野拓郎 （神戸新聞学芸員）

編集部

山口牧生 （彫刻）

丸本耕

△造形

小西保文 （絵画）

藤原向

△意

齊藤智 （平面）

鄭相和

△絵画

山本文彦 （絵画）

山口牧生

△山口牧生

山口牧生 （彫刻）

丸本耕

△赤根

赤根 （彫刻）

山口牧生

△受賞者

受賞者が少ないです。

しかし今

△回

回は平面の作家の活躍は低調だつ

たと思いますね。

新谷秀紀 （彫刻）

はどうですか？

宝塚大橋のモニ

ュメントなど話題は多かつたし、

いつもブルーメール賞のブロンズ

像を造ってる……。

乾 確かにいま平面は新しい仕事

をやっている人は少ない。立体の

方に注目する作品がありますね。

これは現代美術に共通していま

す。びっくりする程の新人は少な

いし、キャリアをもつて地道に自

分の仕事をやつて着実に成果をあ

げている人が神戸でも多いです。

△

△

△

△

△

△

△

すね。

△ 増田 土井はじめ （日本画） はサロ

ン・ド・ドートンヌに入選しました

△ 増田 東浦好洋 （絵画） もね。

△ 草野 宮崎豊治は僕もいいと思

いますよ。新谷秀紀と堀尾貞治も。

△ 増田 堀尾、宮崎、昇の三人を。

△ 赤根 東浦好洋 （絵画） もね。

△ 赤根 宮崎、藤飯を。

△ 草野 増田正和、堀尾、田中、新

谷というとこですかね。

△ 赤根 中右瑛も残したいが、ブル

一メールとなると：

△ 乾 抽象は日本的に見てどうですかね。

△ 増田 新谷も宝塚のああいう問題

がある時だけにね。

△ 乾 新谷の一連の作品の中でと

びぬけていい作品というわけでも

ないし。

△ 乾 あれがすごく芸術的にいい作

品であるとは思えない。

△ 草野 室内彫刻としてはいいんで

すがね。

赤根 ますます匠になるという危険性がありますね。グレコから脱けだせないな。

増田 アイデアの豊かさと新鮮さに驚かされるのは堀尾ですね。昇外義が沈黙を破って東京で個展を

やり、今までの作品を深めたという点を買いますね。

草野 堀尾には何をやるか解らないという魅力、宮崎にはある程度固まりがでてきたという感じ。二人は良き友人でライバルです。それ

に動く彫刻の田中を加えたいが増田 田中の作品は小さいのに比べ須磨の作品を見てもおわかりのよう大きいのがもう一つ面白くない。離宮公園のことを考えると宮崎のは良かった。あんな面白いのを出品できるということを考えたら宮崎の方が完成した作品を出している。

乾 あれは美術館の引きとり手がなかつた。しかし今までの彫刻になかつたものを出して来たよね。増田 河口龍夫が低滯ぎみです。赤根 エンバ賞にも僕らが知つてるものを見出している。彼の意味

がないですよ。

乾 大阪独文化センターでやつたのはさびの仕事でした。発想としては前に西武でやつたのを繰り返しますが、河口ともなると同じものになると面白くない。そこがつらいところです。

草野 増田正和は実績もあるし、昨年の活躍もある。

赤根 木下佳津代は意欲的だね。

増田 奥田義己(平面)が長いスランプから脱け出でたようだ。編集部では、再度名前の挙がった人の中で選んでいただきたいと思いませんが。

増田 中右は久々に個展をしたというだけで内容が深まつたとは言いたがたい。

乾 賛成です。新谷は：

赤根 地元での知名度のわりに、発表がないね、兄妹展はあるが。

乾 素質の良さは確めるが、今年はさけた方が良いと思うね。

赤根 自分のテーマをもたなくて

はね。

増田 増田正和は決定打不足。

草野 ボートアイランドの彫刻など面白いと思うんですけど。

乾 彼のは、一つの頂点に達しているけどそれ以後のアイデアが自分の作品に出てこない。山口の「落日のスケール」のようだね。赤根 藤飯は別格だね。

乾 増田と同様に決定打不足。水準の高い仕事を持続しているといふいで評価はしますが。

★宮崎、堀尾、昇、票を投票で決戦、堀尾、昇、票を分ける

乾 昇は神戸でやつていない我々は見てないので何とも。

草野 実績のある人ですがね。堀尾の神戸での活躍は素晴らしい。起爆力のある人ですね。

増田 半どんの会の奨励賞にひき続きここで堀尾さんをあげたい。

草野 昇は密度の濃い日本画の実績はあるが地元でやつてない弱みがありますね。

乾 僕は堀尾に入れましたから贊成です。これから将来のある人だし、できる人だと思います。

乾 僕は堀尾に入れましたから贊成です。これから将来のある人だし、できる人だと思います。

編集部 では、第八回ブルーメール賞美術部門は堀尾貞治さんへ決定しました。

増田 彼のは、一つの頂点に達しているけどそれ以後のアイデアが自分の作品に出てこない。山口の「落日のスケール」のようだね。



赤根 和生



乾 由明



増田 洋



草野 拓郎

鉄粉かいろ

△神戸市企画局参事△

鉄粉といって馬鹿にする人がいる。ところがこれが意外と日常生活のなかに入り込んでいるのだ。

となつた携帯用の鉄粉かいろで、主に、ハイキング、ゴルフ、釣りなどのレジャー面で利用されていた。ところが、比較的若い人々に人気が出ている。つまり、薄着対策のために使用するので、ファンションにも影響をもつようになつてきた。

この便所は、たゞよこ絃10センチ程度の小袋でかさばらず、身体のどこにでもあてられることがある。その上、火氣を使わないので使い捨て自由といった便利なもの。

鉄粉がいろいろの発熱の原理は、鉄粉が酸素と化合してさびるとき発熱する性質をうまく利用したもの。市販のものは、小袋の中にA剤とB剤が入っている。そのひとつが鉄粉剤で他が食塩・酸剤である。

〔混合の仕方〕



第 2 回

〔振り落しの仕方〕



第 1 四

食塩・酸を入れるのは、鉄粉の酸化を促進させるためのもの。使用に当たり、密封された小袋の中で、A・B両剤をませればよいのだが、要領として、袋をもんだりいためたりしないで、中味の少ない方を上にして、上下に強く振りると両剤がよくまさる。第1図に振り落としの仕方、第2図に混合の要領を図示した。ここで注意を要することは、通気窓をふさがないようにして、身体の必要なところにあてがうこと。空気の流通がないと発熱ないので、使用するときは通気窓のラベルをはがし、使用しないときは、通気窓をラベルでふさげばよい。このとき発熱

磨りはぐくたる

食品の包装中に鉄粉の小袋を入れるだけで、食品の鮮度や品質を保てるので、食品流通面に大きな変化が生ずるのではないかといわれている。

この脱酸素剤の応用で冷凍保存よりも味もよく長期保存に耐えるようになつた。たとえば、プラスチック包装の中に、脱酸素剤と食肉を同封したとき、零度以上の温度で四十日間も保存ができしかも変質や味の変化がみられないといわれる。

今後、家庭にも普及することだろう。

は止まるが、混合剤となつてゐるので、有効時間内のみ再使用が可能である。

こんにちは赤ちゃん



竹本靖司くん / 芦屋市津知町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大木町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科
小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分

金曜日 午後1時30分

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口

住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3

